

もっと世界とつながる グッとくる マガジン

GM

GLØBAL MIND

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

[グローバルマインド]

61

Aug. 2016

学校法人 大阪国際学園
広報誌

[特集]

新しいキャンパスへ 発進!

学長対談

株式会社ビジョンメガネ 代表取締役社長

安東 晃一 氏

みんなのランチタイム / 世界の学食

学園HEAD LINE / 研究室探訪

[特集]

新しいキャンパスへ 発進!

エントランスに入ると“OIU”のロゴだらけ! 見上げてもOIU!



「感性が刺激される空間」
どんなインスピレーションを受けるかは人それぞれ。

スクールマーク「OIU」をモチーフに

OIUの文字をモチーフに建物全体を装飾。学生や教職員すべてに理念を意識させ、グローバルな発信拠点として位置づけることをデザインテーマとしています。

OIU O…地球と和
I…人と自律
U…地球をめぐる世界的な発想、
未来への指向と前進

1号館はまるごと 『ラーニングコモンズ』 あらゆる“学び”の拠点!!

よりグローバルに、先進的に、自由で楽しいキャンパスへと、様々な新しい取り組みを実践しています。大きなチャレンジのひとつが「1号館」。斬新なデザインと最新の機能を備えた学舎です。



自然をできる限り再現

楠の大樹に囲まれた守口キャンパスが平成3年に「守口まちなみ賞」を受賞しているように、学園は緑を大切にしてきました。いつも自然と共にあるような…そんな透明感のある風景を再現しています。



既存樹木の移植と再生で、緑豊かな中庭。





「創造性」がここから生まれる
ラーニングcommons

1F

子どもってすごい!!
こういうことがしてみたくなる形ってありますよね~。
このOIU書架は、家具であり遊具であり教具でもある。



「社会性」がここから生まれる

リサーチcommons 5F

こちらの書架は...まだ何もない。
未完成な分、新しいことを考える楽しさも。
ここで物々交換は? 経済の原点。わらしべ長者になれるかも?
例えば、先生方のオススメの本や不要になった本を置いて、
それを気に入った人が誰でも持って行っていいとか...?

↑
世界でただひとつの“書架”が生み出す
Creative & Communication



選ぶ
ということ

主体的に「選ぶ」仕掛け

自分で自由に「選ぶ」ことは、とても魅力的です。
「自分で選ぶことで、その結果に自分で責任を取る」という訓練を重ねられる
...そんな選択肢があちこちにあります。
学生達はもう既に自由に選んでいます。

居心地の良い場所を探す
くつろぎとコミュニケーションの空間

リラックスできる空間では、気分を切り替えて思わぬ発見があるかも。
素材の温かみだったり、形や色だったり、ガラス越しに見える風景だったり。
たとえ一人で居ても「独り」にならないデザインや空間があります。



iFデザイン賞を1号館が受賞

「iFデザイン賞」は、全世界の工業製品を対象に優れたデザインを選定する世界的に最も権威あるデザイン賞の一つ。2016年、53か国5295点の応募の中よりこのiFデザイン賞を1号館が受賞しました。この名誉ある賞を誇りに、長く大切に使用したいと思います。



1号館が受賞した賞状や盾
(右から)
・第28回 日経ニューオフィス賞 近畿ニューオフィス奨励賞
・日本空間デザイン賞2015
・日本サインデザイン賞(公共サイン部門、空間・環境表現サイン部門)
・iF DESIGN AWARD 2016

スペシャルな
講座

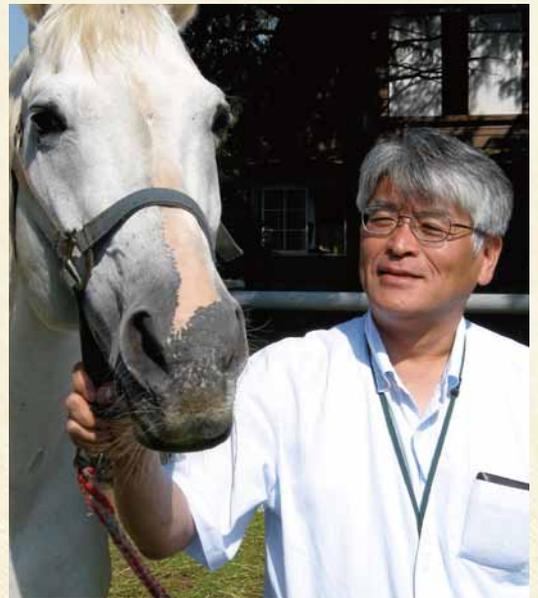
2

年、食とサービスのプロフェッショナルを教授を迎えたOIU・OIC。
客員教授です。眞鍋教授は食生活と健康に関する公開講座を開催、
ンティア活動を指導するなど、斬新なプログラムを展開しています。

休日の大学のとある大教室に
おばちゃんやおっちゃんが次々と
入っていく。お目当ては眞鍋昇教
授の講座だ。2015年10月から
始まった公開講座は「家族とペッ
トの長寿食〜日常食を再点検」
「毒は美味しい！〜食品添加物の
光と影」「風邪は万病のもと！〜
家族とペットの伝染病」「お屠蘇気
分で食あたり〜食中毒の恐怖」
「健康食品は健康にいい食品？〜
健康食品のウソとホント」「環境と
健康〜農薬や放射能の安全性」の
計6回。身近な暮らしをテーマに
し、役に立つ上に面白い内容とな
っていた。毎回100名以上の
聴講者がいるほど人気で、講座終

了後にはいつも教授の周りに人だ
かりができる。受講者の多くは近
くに住む人たちがだが、眞鍋教授の
ファンもいるようで、遠方から足を
運んでくださる。「また聞きたいで
す。聞いただけで丸儲けでした」「眞
鍋教授の講座をシリーズ化してく
ださい」といった要望にお応えし
て、今年も10月から新しい公開講
座がスタートする。今回のテーマは
「馬はなが〜いお友だち」。馬と人間
の関係をふりかえり、馬の事をよ
く知り、新しい関係づくりを考え
るという内容だ。今回の講座でも
身近な事をわかりやすく面白く話
す眞鍋教授のファンが増えること
は間違いなさそう。

公開講座 「今日も元気だ！ 生きてるだけで丸儲けの科学」



眞鍋 昇 教授

MANABE NOBORU

※2016年後期公開講座の日程等はP10をご覧ください。

こんなにためになる！ 眞鍋教授の公開講座



PROFILE/まなべ のぼる(香川県出身)

東京大学 名誉教授、日本学術会議 連携会員、内閣府食品安全委員会
専門委員、日本学術振興会学術システム研究センター研究員、農林水
産省審議会 委員、家畜改良センター 理事、日本繁殖生物学会 理事長
1983年 京都大学農学研究所修士(農学博士)、日本農業(株) 研究員
1988年 バストゥール研究所 研究員
1992年 京都大学農学部 助教授
2004年 東京大学農学部 教授
2015年 大阪国際大学 教授
欧州細胞病理学会奨励賞 受賞(1990年)
日本畜産学会賞 受賞(1998年)

農学博士が開催する、
元気で長生きする
ための公開講座



農学博士の眞鍋昇教授と、航空業界でのキャリア豊かな阪口葉子
 阪口客員教授は学生のボラ



事前研修

素敵な笑顔の学生たちと



キラキラ輝く学生 集結!!

阪口 葉子 客員教授

SAKAGUCHI YOKO

学生が身につけた知識や語学力を活かして、関西国際空港を利用する海外旅行者をアシストするボランティア活動「Assisting at KIX as a Volunteer 25」(略称 AKV25)が2015年秋からスタートした。このボランティア活動の中心となっているのが、阪口葉子客員教授。阪口客員教授は元ユニテッド航空関西国際空港支店長という経歴を持つ、いわば空港のプロフェッショナル。旅行者が迷いやすい場所やサイン、よくある困りごと、どんな風に声をかければいいのか：など、現場で役立つポイントを学生達に指導。「ボランティアで助けながら学生も成長する」その両方を阪口客員教授がサポートし

ている。中国、台湾、韓国を中心に急増するインバウンド観光客をおもてなしすると同時に、学生達がコミュニケーションやチームワークを学ぶのが狙い。同空港でも初の試みだと非常に歓迎されており、現在は月に2日のペースで実施している。活動には大学および短期大学のE.S.Sのメンバーや留学生、ボランティアバンクに登録している学生達が参加。初参加の学生は、事前に阪口客員教授から業務内容についての研修を受ける。当日、バス乗車券売場、JR乗車券売場、改札口・プラットフォーム、駅からターミナルへの連絡通路入口での案内など、各自が割り当てられた配置につき、手続きや行き方がわからずに困っている空港利用



者をサポートする...というのが主な仕事。それぞれ英語版・中国語版の「May I help you?」のプラカードとスタンドを制作し、ボランティア活動について、できるだけわかりやすく伝える工夫も凝らしている。参加した学生達にも好評で、「旅行者を助けられる喜びだけでなく、語学力の必要性を感じるなど自分自身の勉強にもなった」という声が多く聞かれる。

航空業界のプロが
 学生のボランティア
 活動をサポート!



PROFILE / さかくち ようこ (兵庫県出身)
 関西学院大学社会学部卒業、国立大学法人和歌山大学大学院経済学研究科市場環境学修了
 キャセイパシフィック航空客室乗務員、パンアメリカン航空グランドスタッフ、ユニテッド航空教育担当を経て、同社関西国際空港支店長(2001-2014)、関西国際空港 航空会社運営協議会議長(2003-2012)
 著書『素敵なあなたになれる空港グランドスタッフの世界・グランドスタッフの神様が語りつくす!仕事の魅力と合格への近道』(イカロス出版、2014年5月)

学生の感想

- 路線についての知識が必要と感じた。(みどりの窓口)
- 英語がもっと必要だと感じた。しんどかったけど楽しかった。
- 大変でしたがやりがいがあった。このような機会を増やして欲しいです。
- たくさんの外国の方と交流が出来てすごく良い経験になったし、人の役に立てて嬉しかったです。
- 人の役に立てて良かった。空港関係者の方々にとってもお世話になったので助かった。



Departure
海外に触れて学ぶ場
**グローバル
研修プログラム**
3

■大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部の海外研修プログラム(一例)

**海外事情研修
(オランダ)**
オランダ 大学
短大

オランダのプロサッカーチームVVVフェンロと提携。サッカークラブの経営を学びます。またサッカーチームを支える企業を訪問し、欧州サッカー文化も学びます。

**海外ホテル
インターンシップ**
タイor
インドネシア 大学
短大

ホテル業界を目指す学生を対象に、海外のホテルでインターンシップ。初級編はバリ島のリゾートホテル、中級・上級編はタイの首都バンコクの5つ星ホテルで行います。

**カンボジア
ボランティア研修**
カンボジア 大学
短大

農村地域の小学校でボランティア活動を体験。プノンペンにある協定大学での学生交流やNGO訪問、日系企業訪問など新興国支援について学びます。

**シンガポール・
フィールドトリップ**
シンガポール 大学
短大

多民族国家における協定校との交流、日系企業視察、旅行会社での特別ワークショップによって観光ビジネスと多文化共生社会について学びます。

学生交流研修
ベトナムor
インドネシア 大学
短大

ベトナムとインドネシアの協定校での学生交流、中学・高校でのボランティア教師体験、市内視察などのプログラムでお互いの文化を学びながら相互信頼関係を築きます。

**オーストラリア
幼児教育実習**
オーストラリア 短大

シドニーの幼稚園で保育を体験するユニークなプログラム。子育てに関する文化や風土の違い、個性的な保育方法や設備など日本と比較する貴重な体験ができます。

海外研修プログラムで、学生に劇的体験を。

海外へ飛び出すことで、チャレンジ精神を養う。様々な人とふれ合う中で、コミュニケーションの必要性を実感する。人生観がガラリと変わるドラマチックな体験を。そんな願いを込めて、O・U・O・I・Cでは多彩な海外研修プログラムを用意しています。「色々なことに積極的になった」「もっと英語が学びたくなった」など、学生達を新たなステージへと成長させています。

Report 国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科 3年次生 一ノ瀬 由芽

高校の修学旅行で韓国に行った時、自分の英語が通じないことに衝撃を受け、英語を学ぶ環境のあるOIU国際コミュニケーション学部へ進学を決めました。1年経ち自分の英語力を試すため「シンガポールフィールドトリップ」に参加。シンガポールではマレー系・中華系・インド系の3民族が英語を使って生活しており、バイリンガルやトリリンガルが当たり前と知り、英語だけで世界に出ようとしている自分のスケールの小ささを実感しました。2年生の春休みには「海外ホテルインターンシップ(上級)」に参加、タイ・バンコクの5つ星ホテルでの8週間のホテル実務を経験し、観光分野でのホスピタリティへの興味が増えました。そして今年8月からは再びタイに戻り、交換留学生として協定校バンコク大学インターナショナルカレッジ・ホテルレストランマネジメント学科に5か月間留学します。卒業後は海外の大学院で「ホスピタリティ」を学び、いつか日本でのインバウンド観光の分野で活躍したいと考えています。



左が一ノ瀬さん。バンコク・スクンビット地区5つ星ホテルでのインターンシップ修了証授与式

グループ校の海外留学制度

■大和田中学校・高等学校の海外留学制度



国際舞台で活躍できる人材を育成するために、海外留学制度を用意しています。豪州タスマニア州の姉妹校の理解と協力を得て、希望する生徒は中学3年の終わりにホームステイを経験します。

■滝井高等学校の交換留学制度



全生徒を対象として留学生を公募し、学園の費用負担によるカナダへの交換留学を実施しています。海外での異文化体験によって英語力をアップさせると共に、グローバル化が進む社会において世界へはばたく人材を育成する制度です。

何ごとにもノーと言わない。
チャレンジせずには
後悔したくないんです。

株式会社ビジョンメガネ 代表取締役社長

安東 晃一 氏



私も同感です。
トップに立つ人間は
逃げてはいけません。

大阪国際大学
大阪国際大学短期大学部学長
宮本 郁夫

プロフィール (あんどう こういち)

1995年、経営情報学部経営情報学科卒業。卒業と同時に(株)ビジョンメガネに就職。生え抜き社員では初めてトップに立ち、様々な経営改革に着手。2015年には新業態のショップ展開にもチャレンジ。

昔も今も、進取の気風は
変わっていないのです。――

宮本 安東さんは5期生だそうですね。設立当初の本学に進学したの

は、どこに魅力を感じたのですか？

安東 私は経営情報学部だったのですが、1992年当時、「情報」とつく学部は珍しかった。しかも学生全員にパソコンが支給されると聞き、興味をそそられたんです。

宮本 その頃のパソコンって、まだ大きかったですか？

安東 ええ、それを持って通学するのが大変で(笑)。でも学生時代に個人のパソコンを持ち、ソフトの使い方覚えられたのは後の自分にとって、大きな財産となりました。

宮本 校舎は校方ですよ。28年前、あんなキャンパスは斬新だったでしょう。

安東 緑が多くて、外国の大学みたいだと圧倒されました。グラウンドには野外ステージがあって、入学式がそこで開催されたのを覚えています。

宮本 校方は今年からサブキャンパスになり、校舎は守口に一本化されます。本日、新1号館をご覧になっていかがでしたか？

安東 素晴らしいですね！こんな先進的な環境で学べる学生達は幸せだと思います。卒業生としても

母校が今でも進取の気風にあふれているのは嬉しい限りです。

変化するきっかけを用意する
大学でありたいんです。――

宮本 安東さんは、どんな学生だったのですか？

安東 サッカー部に所属してクラブ活動に明け暮れていました。パソコンとサッカー、その2つが大学時代に打ち込んだものです。

宮本 サッカーですか！本学は2014年からガンバ大阪とパートナーシップを結んで様々な交流を行っているんですよ。

安東 うらやましいなあ。私の時代だったら、率先して参加していたでしょうね。

宮本 就職先は、なぜビジョンメガネへ？

安東 メガネって生の中で必ず必要になるでしょう。近眼だったり、老眼だったり。だから人の役に立てる仕事だと感じました。

宮本 最初から社長を目指したのですか？

安東 とんでもない(笑)。入社時は店長が目標でした。

宮本 しかし生え抜き社員で初の社長就任を果たしたのは、大したものですよ。安東さんの仕事におけるモットーとは？ご自分では何が

評価されたと思っておられる？

安東 「ノーと言わない」ことですね。やらなくて後悔するより、やってアカンかったと反省する方がずっといい。と思ってきました。社長就任の時も会社は厳しい経営状況でしたが、やはりチャレンジしてみよう。

宮本 トップになる人は逃げてはいけません。僕もね、学長を打診された時は迷ったけれど、与えられた命を社会のため、教育のために生かしてみようと決心しました。だからこそ思いきった大学改革にも取り組んでいます。

安東 どのような改革ですか？

宮本 大きな柱は国際大学ですから「学生時代に海外を体験させる」ということ。世界をリアルに感じて学生の人生観は確実に変わります。今の自分から脱皮しようと思えます。また「インターンシップ」や「ボランティア活動」を充実させて、社会とできるだけ関わる機会を作っていくとも考えています。

変化するきっかけをたくさん用意する大学にしたいんですよ。

安東 それは慧眼です。企業側から見て採用したくなるのはやはり、自分の考えを持ち、自分の言葉で話せる人。そのためには学生時代の経験がモノを言うと思います。ぜひ卒業生を採用したいですね(笑)。

宮本 よろしくお願ひしますよ。

ヘルシープレート



メニューの種類が増えて、ランチに来るようになりました。
人間科学部 1年次生



ロコモコ丼

ロコモコ丼、
オススメです！
ぜひ食べてください！
国際教養学部
1年次生

明太子クリーム
パスタの超盛り



ピザは友達と
シェアします。
国際教養学部
1年次生



1号館に登場したカフェ。パスタ
&ピザのセットや、おかず盛りだ
くさんの日替わりなど、うれし
いメニューが色々。ゆったりした
座席だから、食後のお茶やデ
ザートも楽しむ人多し。

やっぱり

カフェ派！

カフェ派？

なの タイム

素。他の人がどんな
べているのか
ませんか？
見せてもらいました！

実は

お弁当派！

意外に多いのが、お弁当派。
お金がかからないし、ヘルシー
だし、好きなおかずを食べられ
るし…と良いことづくめ。お母
さんに頼む人が多いけれど、中
には自分で作るしっかり者も。



お母さんが作った
お弁当、いつもおい
しいで〜す！
人間科学部 1年次生

ウィンナー
大好き！
国際教養学部
1年次生

毎日作ってくれる母
に感謝です！
ライフデザイン
総合学科 1年次生



ママさんの手作りです！
人間科学部 1年次生

りんごが大好きな
のでいつも入れて
います。あとは見た
目が良い感じに
しています！
人間科学部 1年次生



だんぜん

学食派!

安くてボリュームたっぷり! 栄養
バランス抜群でおいしい!
そんな学生食堂は、やっぱりみんなのオアシス。学生は食堂のおぼちゃん達と仲よし。

食堂の方々が栄養のことなど考え、おいしい食事を作ってくれて感謝です。
人間科学部 1年次生

食堂人気No.1のからあげ丼がオススメです。
人間科学部 2年次生

からあげが美味しいのはもちろん、上のタレが美味しく良く食べています。
人間科学部 4年次生

カレーライスおいしいです。プラス50円で卵をのせました。
人間科学部 1年次生

今日はからあげ丼とうどんだけカツカレーもおいしいです!
グローバルビジネス学部 2年次生

学食派?

みんなランチ

お昼ごはんは元気のメニューを食
気になり
みんなのお昼、

食堂では毎日1メニューだけ提供されます。日本のように自由に選ぶことはできません。値段は学生が2リラ、教員は3リラ。この日のメインはイズミルキョフテ(トルコ風煮込みハンバーグ)でした。

(2016年5月 1リラ≒37.1円)



世界の せかいのがくしよく ⑤ 学食



トルコ
エルジェス大学

枚方キャンパスファイナルイベント “OIU PRIDE”

2016年度キャンパス集約に伴い、枚方キャンパスへのお別れイベントとして“OIU PRIDE”が3月20日(日)に枚方キャンパスで実施されました。

イベントは二部制で、第一部では、かつての活気あるキャンパスの姿を偲び、卒業生主導のもと大学祭を復活させました。メインストリートには卒業生・在学生出店の模擬店が並び、芝生に設置されたステージではカラオケ大会などのイベントが行われました。卒業生・在学生・近隣にお住まいの方々など大学に恩顧のある多くの方々に訪ねていただき、盛況のうちに終了を迎えました。

第二部は場所を大教室に移し「お別れセレモニー」。学長と同窓会会長の高野様のご挨拶の後、グローバルビジネス学部の谷口真由美准教授司会によるトークプログラム「真由美の部屋」では、卒業生・教職員をステージに招き、枚方キャンパスの思い出を語りあい、会場は笑いと懐かしさに包まれました。その他「写真と映像でみる枚方キャンパス」と題したプログラムで開学当初からの映像を放映したり、全員が一体となって最後の学歌斉唱を行いました。セレモニーの最後は花火の打ち上げで幕を下ろしました。

ご来場いただいた皆様から、枚方キャンパスを懐かしむ声や、母校のキャンパスがなくなってしまうことへの悲しみの言葉をいただきました。卒業生・在学生の思いを教職員がしっかりと受け止め、OIU PRIDEを継承していくことを心に誓いました。



新たなスペシャルアドバイザー



元TBSアナウンサー
林 正浩さん

40年前の1976年8月21日。夏の全国高校野球選手権大会決勝で東京の桜美林高校がPL学園を延長で破って初優勝したとき、一塁側アルプス席で後輩の活躍を信じられない気持ちで見守っていた。自身も3年前に春のセンバツで甲子園の土を踏んでいて、後輩の練習も手伝っていた。高校2年で腰を痛め、進んだ立教大学でのプレーはあきらめたが、悔いはなかった。大学では放送研究会に入り、4年秋にTBSの「男子スポーツアナウンサー若干名募集」を見て、「これだ」と応募。「これまでの人生ありのまま正直にぶつかっていこう」と考え、合格した。

アナウンサーになって心がけたのは、「心でしゃべる」ことだった。恩師の野球部長が「桜美林の野球は心の野球。君は心でしゃべるアナウンサーになりなさい」とアドバイスされたからだ。そして何事もしっかりと「準備すること」を心がけた。37年間、スポーツアナウンサーとして、野球、ゴルフ、ラグビー、陸上競技など多くの競技をしゃべり続けた。00年のシドニー五輪では、マラソンで優勝した高橋尚子さんから「とても楽しい42.195キロでした」のコメントを引き出した。09年の日本が韓国を破って優勝した第2回WBCでは、イチローが打ち、ダルビッシュが締める場面を実況。「冷静と興奮」の感情にじびれた。

若者には、夢はできるだけ遠く大きなものを、目標はできるだけ近く現実的なものをつづつ消化していけるようにしたいといい、とアドバイスする。「これからもスポーツ実況アナウンスでやり残したことに挑戦していきたい」と意欲は消えない。

学生へのメッセージ

この度大阪国際学園のスペシャルアドバイザーに就任出来る事を大変光栄に思っております。

世界の中の自分。世界の中の1人の日本人として。世界中から様々な才能、個性そして国籍を持った人間の集まる刺激的な街、パリ。そんな大好きなパリに長く住んで感じたり見たりして受けた沢山の刺激、経験をすでに国際的な視野を持っているであろう学生の皆さんと共有出来る事を大変嬉しくワクワクしています。

パリで生活して感じる事の一つにフランス人やその他色々な国から来た人々が「祖国の文化・伝統」に精通している事です。その基盤(リスペクト)があってこそ初めて他者の文化もリスペクト(尊重)出来る真の国際人になれるのだと感じています。

みなさんには社会に出る前の貴重な時間を自分達の文化・伝統を見つめ直しながら大きな視野を持って自らが設定した目標に向かって思い切り躊躇する事なく打ち込んでほしいと思います。

プロフィール 1965年 大阪府出身。大阪のファッションデザイン専門学校を卒業後(株)ワールド入社。その後渡仏しパリ・ピエールカルダン社にデザイナーとして入社。ピエールカルダン氏の側でファッションに関する全ての事を学ぶ。現在もパリにてピエールカルダン氏のアシスタントデザイナーを務める。



デザイナー
三浦 公芳さん

2016年学園イベントスケジュール

●優花祭

10/22日(土) 13:00～ 梶裕貴さん(声優)トークショー
10/23日(日) 18:00～ Aqua Timez LIVE

10/22(土)、23(日)は学生会が主催する大学祭“優花祭”を開催します。
出演者情報や申し込み方法はTwitterをご覧ください。

「大阪国際大学 学生会・優花祭本部」
@gakuyu_mori



●公開講座

卒業生はもちろん、社会人向けの公開講座を開催致します。

参加費：無料

定員：200名

申し込み締め切りは9/15です。

お早目にお申込み下さい。

詳細は地域協働センターのHPをご覧ください。

<http://www.oiu.ac.jp/regional/>



公開講座1『人間を科学する!』

日程	講師
第1回 10月1日(土)	心理コミュニケーション学科 教授 森上 幸夫
第2回 11月5日(土)	人間健康科学科 教授 黒川 清
第3回 12月3日(土)	スポーツ行動学科 教授 湯川 静信
第4回 1月7日(土)	心理コミュニケーション学科 准教授 林 幸史
第5回 2月11日(土)	人間健康科学科 准教授 山口 直範
第6回 3月4日(土)	スポーツ行動学科 准教授 西岡 ゆかり

公開講座2『馬はなが〜いお友だち』

日程	講師
第1回 10月15日(土)	学務部教授・学長補佐 眞鍋 昇
第2回 11月19日(土)	国際教養学部 国際観光学科 教授 笠井 敏光
第3回 12月24日(土)	日本中央競馬会 栗東トレーニングセンター競走馬診療所 課長 滝澤 康正
第4回 1月28日(土)	株式会社春日 専務 辻本 豊仁
第5回 2月25日(土)	グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科 准教授 田中 優
第6回 3月18日(土)	神戸山手大学 現代社会学部 総合社会学科 准教授 村上 幸史

大和田幼稚園“新園舎”完成

新園舎が2016年3月に無事竣工し、4月より新園舎での生活が始まりました。新しい環境の中で戸惑う事もありますが、何もかもが新鮮で毎日が探検と発見の連続です。園舎はどこからでも陽ざしを感じることができ、保育室の壁は斬新でカラフルな色合いになっています。体育遊具や知的遊具もバランスよく遊び・学べるように内容豊富に準備され天然木の温もりのある床で存分に遊んでいます。



本園舎 2017年完成予定



現在建設中の本園舎には、安全安心を第一に、豊かな感性と創造力を養う自然のぬくもりを大切に保育室と、開放的で明るく遊びの空間がある廊下を建設予定です。保護者や地域の皆様の信頼と満足感が得られる園舎を目指しています。

Challenge The Global Mind 学生チャレンジ制度 採択企画発表

学生達の「やってみたい」をサポートする、OIU・OIC独自のプログラム「学生チャレンジ制度」。2016年度は国際感覚を活かしたグローバルな企画が多く採択されました。

採択企画テーマ	代表者名
心理コミュニケーションのマインドをベトナムへ持っていきましょう!!	PHAN KHANH LINH
手作りのアルバムで卒業年次生に感動を!	子幡 将人
同窓会特別賞	代表者名
香港・マカオ 海外スタディツアー用観光ガイドマップ!	中村 ケント
フレチャレンジ制度採択企画	代表者名
ベトナムの孤児たちに服をおくりませんか?	中口 春樹
Caféで人の心の理を学ぶ ～communication 心 Café～	新井 庸平

最新情報は各校公式サイト、Facebook、Twitterで発信中!

大阪国際学園

検索

■ 大阪国際大学
<http://www.oiu.ac.jp>



■ 大阪国際滝井高等学校
<http://www.takii-h.oiu.ed.jp>

■ 大阪国際大和田中学校・高等学校
<http://www.owada-h.oiu.ed.jp>



■ 幼保連携型認定こども園
大阪国際大和田幼稚園
<http://www.owada-k.oiu.ed.jp>

■ 大阪国際学園 <http://www.oiei.jp>





研究室探訪

大阪国際大学
人間科学部心理「コミュニケーション学科
ブラッド」
ウイスゲイティス教授 研究室



研究室に入ると整理された書架と室内。テーブルの向こうに小型のピアノが目に入る。ケースに入ったギターもある。「家には琴もありますよ」というウイスゲイティスさん(59)。8歳から始めたピアノやギターでは自作の曲を中心に弾くという音楽好きだ。

くま太郎君の走る理由



作者: なかじー

- 本誌に記載の学年、肩書き等はすべて情報収集時のもので、発行時期と異なることがあります。ご了承願います。
- 大学・短大卒業生の住所等の変更、送付不要のご連絡は同窓会提携会社プリンティングサービス TEL.06(6969)8111 E-mail:info@printing-s.jp までご連絡ください。
- 卒業生以外の方の送付に関するご連絡や、本誌に関するご意見、ご感想等は学園企画・広報課までご連絡ください。電子メールもご活用ください。koho@oiu.jp

各学校の最新ニュースは公式サイトでご覧いただけます。

33歳で帝国女子短期大学講師に着任してことし27年目を迎えた。大阪国際大学が産声をあげてすぐで、国際大学の歴史を見守りつつ、4半世紀が過ぎたことになる。

研究会に入ると整理された書架と室内。テーブルの向こうに小型のピアノが目に入る。ケースに入ったギターもある。「家には琴もありますよ」というウイスゲイティスさん(59)。8歳から始めたピアノやギターでは自作の曲を中心に弾くという音楽好きだ。

研究会に入ると整理された書架と室内。テーブルの向こうに小型のピアノが目に入る。ケースに入ったギターもある。「家には琴もありますよ」というウイスゲイティスさん(59)。8歳から始めたピアノやギターでは自作の曲を中心に弾くという音楽好きだ。

研究会に入ると整理された書架と室内。テーブルの向こうに小型のピアノが目に入る。ケースに入ったギターもある。「家には琴もありますよ」というウイスゲイティスさん(59)。8歳から始めたピアノやギターでは自作の曲を中心に弾くという音楽好きだ。

研究会に入ると整理された書架と室内。テーブルの向こうに小型のピアノが目に入る。ケースに入ったギターもある。「家には琴もありますよ」というウイスゲイティスさん(59)。8歳から始めたピアノやギターでは自作の曲を中心に弾くという音楽好きだ。

研究会に入ると整理された書架と室内。テーブルの向こうに小型のピアノが目に入る。ケースに入ったギターもある。「家には琴もありますよ」というウイスゲイティスさん(59)。8歳から始めたピアノやギターでは自作の曲を中心に弾くという音楽好きだ。

独白

大阪国際学園
理事長 奥田 吾朗

「当たり前前」にある価値

熊本の地震から四か月余が過ぎた。いままも余震が続く中、復興への歩みは遅々としているように見える。被災された方々には心からお見舞い申し上げ、二日も早い復興をお祈りしたい。

過日、5年前の東日本大震災で被災された福島の私立学校の先生とお話しする機会があった。震災後、福島から郡山へ校舎を移転されたが、生徒の数も増え、何より子どもたちが生き生きと学び、課外活動に取り組んでいることに教えられたという。学校があり、通学するという当たり前前のご事情が、震災を経験した子どもたちにとって、いかに大切な事かが、身体で伝わったということだった。

朝起きて食事して学校へ行く。友と語らい遊び、遊ぶ。日常の当たり前前のご事情の中に、実は大変な価値があることを、私たちはともすれば見逃してしまつてはいないだろうか。まだ震災真つただ中にいる人々には申し訳ない言いがただが、大きな犠牲の中から学ぶこともであると教えられた。私たち教育に携わる人間は、日々、生徒、学生が当たり前前のご事情の中にある大切さを見つめられるよう、それぞれの立場で実践していきたいと思う。

